

※P は竹原市基礎調査分析報告書のページ番号

区分	現状を示す統計値等
人口 (P1～P14)	<ul style="list-style-type: none"> ○人口増減(P3) <ul style="list-style-type: none"> ・近年 500 人前後の減少で推移。(自然減, 社会減) ○自然増減(P5～P7) <ul style="list-style-type: none"> ・近年マイナス幅が拡大傾向。近年 250 人以上のマイナスで推移。 ・死亡は 400 人程度で増加傾向。出生は減少傾向で H28 は 116 人 ・合計特殊出生率は, 県平均より下で, その差が拡大傾向。H28 は県平均 1.54 で竹原市 1.47 ・未婚率は, 男女・年齢別にみると年々上昇傾向。周辺市よりも, 未婚率が高い年齢階層が多くなっている。(男性 30 代・50 代前半, 女性 20 代前半, 50 代前半) ○社会増減(P8～P11) <ul style="list-style-type: none"> ・近年 200 人前後の転出超過推移。 ・転入は近年 800 人前後で推移。転出は 1,000 人前後で推移。 ・男女別人口純移動率 男女とも 10～14 歳→15～19 歳, 15～19 歳→20～24 歳で大きくマイナス, 男性は 20～24 歳→25～29 歳でプラスに転じるが, 女性はマイナスで推移。
子育て環境 (P65)	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所数: 11 施設。入所者数は微減傾向で推移。 ○定員充足率: 低下傾向で, H28 は 83.6%
学校教育 (P44～P53)	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園(P44) <ul style="list-style-type: none"> ・園児数: H21 以降, 減少傾向。 ・教員一人当たり園児数: 県内市部で最も少ない。 ○小学校(P45～P48) <ul style="list-style-type: none"> ・学校数: H27 以降は 9 校。 ・児童数: 減少傾向。H28 は 1,133 人。 ・教員 1 人当たり児童数: 県内で 4 番目に少ない。 ・学力の推移: 全科目で県平均以上。 ・体力: (男子)概ね全国平均。(女子)概ね全国平均以上で推移。 ・不登校: H26 は県平均を上回るが, H27 以降は県平均を下回る。 ○中学校(P48～P51) <ul style="list-style-type: none"> ・学校数: 4 校で変化なし。 ・生徒数: 減少傾向。 ・教員 1 人当たり生徒数: 県内で 5 番目に少ない。 ・学力の推移: 教科別通過率は英語を除き県平均。 ・体力: 男女とも概ね全国平均で推移。 ・不登校: 県平均を超える水準で推移。 ○高校(P52～P53) <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数: 減少傾向で推移。 ・1 校当たり生徒数: 県平均と比較し, 大幅に少ない。 ・教員一人当たり生徒数: 県平均と比較し, 大幅に少ない。 ・大学進学率: 半数近くが大学に進学するが県内平均よりは低い。 ・就職率: 県平均以下。県内他市比較では最低。
産業・雇用 産業(P17～P23) 雇用(P36)	<ul style="list-style-type: none"> ○市内総生産の推移は, 広島県内と比較して低水準。第 2 次産業, 第 3 次産業は増加している。 ○産業別では, 建設業, 電気・ガス・水産業・廃棄物処理業が非常に高い。 ○有効求人倍率(P36) 県内瀬戸内沿岸地域と比較するとやや低い傾向。
農林水産業 (P32～P35)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業(P32～P34) <ul style="list-style-type: none"> ○総農家数 <ul style="list-style-type: none"> ・この 25 年間で約 1,000 戸が減少。販売農家の減少が顕著。 ・自営農業従事者数: 4 千人以上減少。 ○耕作放棄地は, ほぼ横ばいで推移。 ○販売農家の農地面積は減少。自給的農家の面積は微増で推移。 ○農業出荷額: 100 億円程度で推移。果実, いも類, 畜産が高い。 (2) 林業(P34) <ul style="list-style-type: none"> ○林家数は減少傾向で推移。林野面積は横ばいで推移。 (3) 漁業(P35) <ul style="list-style-type: none"> ○漁業経営体数: 減少傾向。32 経営体。 ○就業者数: 減少傾向。漁獲量は, H20 以降, 減少
商工業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 製造業(P24～P25) <ul style="list-style-type: none"> ○事業所数: 減少傾向で推移。H27 は 52 事業所

区分	現状を示す統計値等
(P24～P31)	<ul style="list-style-type: none"> ○従業者数：減少傾向，H20以降は1,600人程度，横ばいで推移。 ○製造品出荷額等：H26から急激に低下。 <ul style="list-style-type: none"> ・H27は742億円までに減少。 ○産業分類別の製造品出荷額 <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造業：120億円で推移。H27は，170.3億円と大きく増加 ・繊維：10億円で推移。H27は27億円に増加。 <p>(2) 商業(P26～P29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業所数：減少傾向で推移。 ○従業者数：減少傾向で推移。 ○年間販売額：減少傾向で推移したが，H26は増加に転じる。 ○卸売業：事業者数は横ばいで推移。 ○小売業：事業者数・年間販売額とも減少傾向からH26は増加に転じる。 ○小売吸引力：他市町へ流出していたが，H26は流入に転じる。
観光振興 (P37～P38)	<ul style="list-style-type: none"> ○総観光客数 <ul style="list-style-type: none"> ・緩やかな増加傾向。H26に初めて100万人を上回る。 ・H27には過去最高で132万人。県内シェアは約2% ○観光消費額 <ul style="list-style-type: none"> ・H28に3億円。県内シェアは0.7%で推移。 ○宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> ・H27には，31万人まで増加。H28には，27万人に減少。 ・宿泊率は，県内平均より高く，近年2割程度で推移。
医療施策 (P54～P60)	<p>【医療施設数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院施設数 <ul style="list-style-type: none"> ・4病院で維持。人口1万人当たり病院数は，県平均を上回る。 ○一般診療 <ul style="list-style-type: none"> ・25施設で維持。人口1万人当たり一般診療所数は県平均と同水準 ○市内病床数 <ul style="list-style-type: none"> ・509床で推移。人口千人当たり病床数は，県平均14.32を上回る。 ○医師 <ul style="list-style-type: none"> ・近年微増傾向で推移。 ※産婦人科，脳神経外科，放射線科を主な診療科目する医師がいない。 <p>【医療費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保一人当たり医療費は全国平均をやや上回る。
高齢化対策 (P15～P16) (P61)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のいる夫婦のみ世帯：19.3% ○高齢者単独世帯：17.8% <ul style="list-style-type: none"> ※いずれも，県・全国と比較して高い。 ○老人福祉施設数：3施設。横ばいで推移。 <ul style="list-style-type: none"> ・在所者数：定員に大きな変化なく，120人超の横ばいで推移。 ○要介護認定者数：2千人程度で推移。
障害者施策 (P62～P64)	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者施設数：6施設。 <ul style="list-style-type: none"> ・在所者数：200人前後で推移。H28は減少 ○身体障害者手帳所持者数 <ul style="list-style-type: none"> ・手帳所持者数は微減傾向。 ・身体障害者手帳所持者数は，各階級とも，微減傾向で推移。 ○療育手帳所持者は，微増傾向で推移。 ○精神障害者手帳所持者数は，減少傾向で推移